部局名	生涯学習部	所属名	生涯学習振興課	所属長名	佐藤 正勝	電話	481-0309

1. 事務事業の位置付け・概要(PLAN)

コード	39	60	事務事業名称	やちよふるさとカルタ推進事業			短縮コード 経常		3960	臨時					
予算区分	会計	01	一般会計		款	10 教育費		項	05	社会教育費	目	01	社会教	有総務費	
区分	夕 自:	治事務	□ 法定受	き託事務	Ķ,	根拠法令等	社会教育法、八千位	代市子	ども憲	章					
	□ そ	の他													

事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)

事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測

・事業概要

八千代市の自然・歴史・伝統文化・産業などを題材に制作した郷土かるたを、市民に販売・貸出する。

・事務事業を開始したきっかけ

2001年(平成13年)1月1日の八千代市子ども憲章制定を記念して平成13年度に開始された。かるたの制作は市の公募に応じた市民等による「八千代ふるさとかるた」づくり実行委員会が担当した。初版(1,200部・うち170部は寄贈)が完売となったことから、平成15年度に増刷版(555部)を発行している。

5本の柱(章)

平成14年度制作当初、総合的な学習の時間や完全学校週5日制が導入されていたこともあり、学校教育と社会教育の両方の活動でのカルタ利用が増加した時期があったが、その後は横ばい。平成18年度、青少年課の主催でかるた取り大会が開催され、その影響で18年度以降売り上げが増えている。

	大項目(節)	02	生涯学習	
総合	中項目	02	社会教育	
計画	1 1			
総合計画の施策体系	小項目(施策)	01	社会教育活動の推進	
策	小女口 (地東)			
系	細項目	01	学習活動の充実	
	和 久 口			
	実施計画の			
	計画事業			
				-

02 人間尊重都市をめざして

計画事業の位置付けの有無 □ 計画事業期間 ~ 計画事業費 千円

2. 事務事業の目的・指標・実績(DO)

対象 (誰を何を対象にし ているのか)	・市民 ・市内の子どもに関係する団体・機関(幼稚園・保育園・小学校・学童保育所・子ども会)
手段 (具体的な事務事業 のやり方、手順、詳 細)	※平成19年度に実際に行ったこと: 平成15年度に増刷したかるたを教育委員会社会教育課(現・生涯学習部生涯学習振興課),郷土博物館,文化伝承館の3ヶ所において,1セット1,300円で販売した。 子どもに関係する団体・機関へのかるたの貸出を行った。 ※平成20年度に計画していること: 平成19年度に引き続き,かるたの販売・貸出を行う。
意図 (何を狙っているの か)	八千代の自然・歴史・伝統文化・産業などについて楽しみながら学習してもらう。
結果 (どんな結果に結び つけるのか)	入力対象外

区分		19年				度	20年度
			単位	実績	計画	実績	計画
	指標 1	市人口(3月末現在)	人	186, 650	188, 600	188, 624	190, 600
対象指標	指標 2	市世帯数(3月末現在)	世帯	75, 675	77, 100	77, 303	79, 300
	指標3	市内の子どもに関する団体・機関数	団体	108	109	76	76
	指標 1	八千代ふるさとかるた販売数	セット	69	70	61	65
活動指標	指標 2	八千代ふるさとかるた累積販売数	セット	1, 320	1, 390	1, 451	1, 516
	指標3	八千代ふるさとかるた貸出回数	回	8	10	6	10
	指標 1	ふるさとかるた普及率 (累積販売数/世帯数)	%	1. 7	1.8	1.8	1. 9
成果指標	指標 2	貸出用かるた活用率(貸出回数/子ども関係団体数)	%	7	9	8	13
	指標3	地域に愛着を感じている人の割合	%	100	100	100	100
	指標 1						
上位成果指標	指標 2						
	指標3						

¬ –	コード 3960 事務事業名称 やちよふ			やちよふるさとカルタ推進事業		所属名 生涯学習振	生涯学習振興課		
単位			単位	18年度	1 9	2 0 年度			
			+12	実績	計画	実績	計画		
		国	千円						
		県	千円						
	財源内訳	地方債	千円						
		一般財源	千円	0	0	0	0		
● 業 [その他	千円						
事業費(A)	主な事業	養の内訳		予算なし	予算なし	予算なし	予算なし		
人件費(B) 千円		千円	187. 3	174	182. 7	174			
トータルコスト(A)+(B) 千円			千円	187. 3	174	182. 7	174		

3. 事務事業の評価(SEE)

3.	事務事業の評価(SEE) 		
評価 類型	評価事項	評価区分	理由由
	①事業目的が上位の施策に結びつ	☑ 結び付いている	上位の施策「社会教育活動の推進」を推進するために、やちよふるさとカルタ推進事業を実施しており、結びついている。
		□ 結び付くが見直しの余地がある	
	いているか?	□ 結びつきが弱い・ない	
		□ 評価対象外事項	
		☑ 達成している	やちよふるさとカルタは、今後社会教育推進事業の中で評価していく。
В	②すでに所期目的を達成しているか?		
目的妥当	※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。	□ 評価対象外事項	
性	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	
	※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。	□ 可能性はない	
	(民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	□ 評価対象外事項	
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 現状のままでよい	
		□ 見直す必要がある	
		□ 評価対象外事項	
		□ 有効性向上の可能性がある	
	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか?	□ 効率性向上の可能性がある	
	可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	□ 両方可能性がある	
	入する。 	□ 可能性がない	
有	⑤-2 有効性や効率性を向上さ	□ 民間委託等	
	せる手段は何か? 該当する手段を選択し、	□ 臨時的任用職員等の活用	
効率	具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」	□ IT化等業務プロセスの見直し	
性	である場合は、該当する類似事業を記入する。	□ 受益者負担の見直し	
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 1 実施主体 (所管部署)
		□ 上記以外の方法	事業 実施主体 名称 2 (所管部署)
	5-3 推進にあたっての課題はあ るか?(一時的な経費増・市	□ ある	
	民の理解等)	口ない	

⊐ -	- ド 3960 事務事業名称	やちよふるさとカルタ推進事業		所属名	生涯学習振興課				
今後の方向	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	 □ 改革・改善して継続 □ 手法プロセスの改革・改善 □ 事業規模の拡大・縮小 □ 統合・役割見直し □ その他 ② 廃止 □ 休止 □ 現状のまま継続 	当初目的としていたやちよふるさとカル 今後は社会教育振興事業の中で、評価し		は、その目的をほぼ達成できたことから、 ことする。				
性	⑦この事務事業の今後の経費・成果 の方向性について選択し、右欄に理 由を記載する。	A A 削減 不 内上 □ 不変 □ 低下 □	文 増 加	助となるこ	ことを期待して利用数の増加を目指してい				
※内	この事務事業に対する市民や議会の意見(担当者が把握している意見) ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など 貸出後に回収しているアンケートの感想では皆良かったと回答しており、好評である。								
所属長コメント	平成13年1月1日の「子ども憲章制定」 後もPRを行い,販売数,貸出数を増や「		販売や貸出を行っている。遊びを通じてノ	千代市の	文化などについて親しんでもらえるよう今				
評価調整委員会評価	□ 改革改善して継続 □ 手法プロセスの改革・改善 □ 事業規模の拡大・縮小 □ 統合・役割見直し □ その他 ☑ 廃止 □ 休止 □ 現状のまま継続	当課の評価のとおり、単独事業と	して推進していく役割は終了となり,所期	目的を達成	艾したといえる。				